



2021年2月15日

各位

会社名 株式会社トライアイズ
代表者 代表取締役社長 池田 均
(コード4840 JASDAQグロース)
問合せ先 執行役員経理部長 上嶋 悦男
電 話 03(3221)0211

2020年12月期業績予想と実績値の差異に関するお知らせ

2020年2月13日に公表いたしました2020年12月期(2020年1月1日～2020年12月31日)の業績予想と実績値との間に差異が生じたので、下記のとおりお知らせいたします。

記

1. 業績予想との差異

2020年12月期業績予想と実績値との差異 (2020年1月1日～平成2020年12月31日)

(単位:百万円)

	売上高	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
前回発表予想(A)	360	73	51	6円43銭
実績(B)	350	105	67	9円06銭
増減額(B-A)	△9	32	16	—
増減率(%)	△2.6	44.1	31.4	—
(参考) 前期実績 (2019年12月期)	386	103	73	9円31銭

2. 差異の理由

過年度から継続して取り組んでいる固定費の削減活動が功を奏し、一般管理費が当初の予測を大きく下回ったことが主要因であります。

当事業年度の売上高は、ロイヤリティ収入が当初の予測を下回る結果、350百万円(計画比2.6%減少)となりました。一方で過年度から継続的に固定費の削減に努めた結果、一般管理費は248百万円(計画比15.9%減少)と大幅な削減を果たすことができました。これを受け、営業利益は101百万円(計画比58.5%増加)と計画を大幅に上回る結果となりました。

営業外損益は概ね当初の予測どおり推移し、営業利益の増加を受けた結果、経常利益は105百万円(計画比44.1%増加)と計画を大幅に上回る結果となりました。計画外で発生した特別損益項目はなく、経常利益の増加を受け、税引前当期純利益は108百万円(計画比48.4%増加)と計画を大幅に上回る結果となりました。税引前当期純利益の増加を受け、法人税等及び法人税等調整額を含む税金費用は41百万円(計

画比 87.9%増加) と計画を上回る結果となりました。

以上より、当期純利益は 67 百万円 (計画比 31.4%増加) と計画を上回る結果となりました。

以上